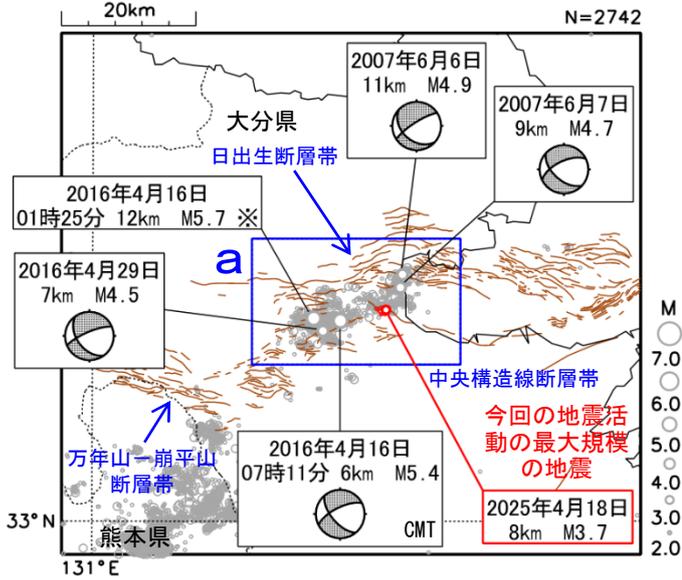


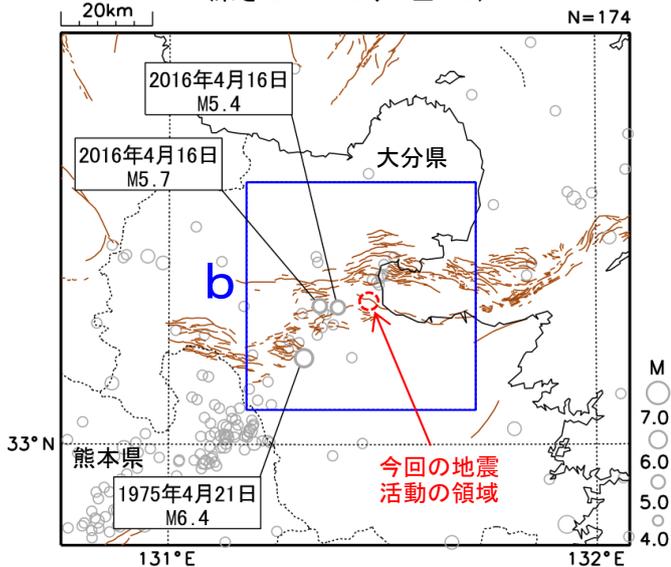
4月18日 大分県中部の地震活動

震央分布図
 (2000年10月1日～2025年4月30日、
 深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
 2025年4月の地震を赤色○で表示
 図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
 長期評価による活断層を示す



※2016年4月16日01時25分に発生した大分県中部の地震 ($M5.7$) は、熊本県熊本地方の地震 ($M7.3$) の発生直後に発生したもので、 M の値は参考値。また、震度についても $M7.3$ の地震の発生直後に発生したためどちらの地震によるか特定できない。

震央分布図
 (1919年1月1日～2025年4月30日、
 深さ0～40km、 $M \geq 4.0$)

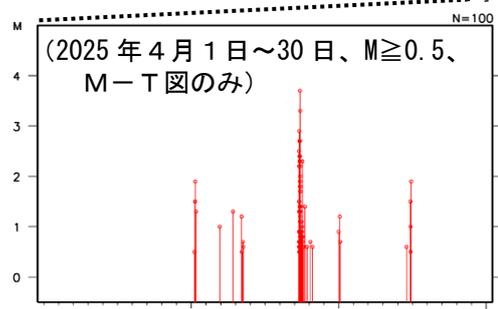
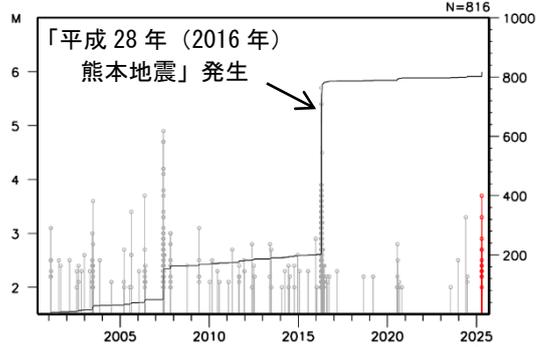


大分県中部では、2025年4月18日07時頃から18日13時頃にかけて地震活動が一時的に活発となるなど、18日から30日までに震度1以上を観測した地震が13回（震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回）発生した。このうち最大規模の地震は18日08時57分に発生した $M3.7$ の地震（深さ8km、最大震度3）である。これらの地震は地殻内で発生した。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2016年4月16日に $M5.4$ の地震（深さ6km、最大震度5弱）が発生している。また、2007年6月6日から6月10日にかけて地震活動が活発となるなど、6月中に震度1以上を観測した地震が64回（震度4：3回、震度3：6回、震度2：16回、震度1：39回）発生した。このうち最大規模の地震は6月6日に発生した $M4.9$ の地震（深さ11km、最大震度4）で、この地震により重傷者1人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、 $M5.0$ 以上の地震が3回発生している。1975年4月21日に発生した $M6.4$ の地震（最大震度4）では、負傷者22人、住家被害2,240棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

